

藤田まことさん参加で一層賑わい

堂島薬師堂 節分お水汲み祭り

[平成20年2月1日/堂島薬師堂および周辺]

堂島薬師堂を中心とする北新地一帯で、春と福を呼ぶ恒例祭事が行われた。薬師寺僧侶や鬼、龍神が練り歩く「節分の鬼追い」と、僧侶が一人ひとりの竹筒護符にお香水(こうずい)を汲み清める「お水汲み」がひとつになったこの祭りは、平成16年に地元曾根崎新地や町会、商店会、経済界の呼びかけで復興したもの。今年は副代表発起人の藤田まことさんも参加し、新地本通りで「大阪締め」を行い龍の巡行に加わるなど、祭りを盛り上げた。また主会場の堂島アバンザでは、地元芸妓衆の奉納舞やホステスらによる「お化け(仮装)」なども行われ、北新地らしい艶やかな祭りとなった。



藤田まことさん(右)

お水汲み(堂島薬師堂)

水都大阪 文学で川をめぐる

第3回 水都大阪再発見クルーズ

[平成20年3月9日/土佐堀川~堂島川~大川~淀川]

今回の企画は、文学の視点から「水都大阪」の魅力を再発見する。井原西鶴、近松門左衛門、与謝蕪村、水上瀧太郎、宮本輝、高村薫など、大阪に生まれ、あるいは育った作家はじつに多い。今回は、そうした作家たちによって描かれた川を巡りながら、当時の情景や中之島の歴史を読み取った。解説は夙川学院短期大学の高島幸次教授。一般公募の75名がアクアライナーに乗船し、土佐堀川から淀川までの随所で船を留め、フリーアナウンサーの馬場尚子さんの作品朗読に聞き入った。毛馬閘門では、淀川と大川の水位差を船内から体感した。この事業は、水辺の魅力を再発見し、船舶会社などに付加価値の高いクルーズを提案するパイロット事業として、昨年秋から大阪21世紀協会の主催で行っている。



コラボレーションのデザイン

平成19年度 企業メセナ・セミナー

[平成20年2月28日/大阪市北区:メビック扇町]

講師: 赤松 学氏(ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)

松田朋春氏((株)ワコールアートセンター チーフプランナー)

藤原 明氏(りそな銀行地域サポート本部)

プレゼンター: 三村康仁氏(ゲートオブドラゴン)

アサオ ヨシノリ氏((株)月眠代表取締役)

重久 毅氏((有)ガーデンデザインオフィス代表取締役)

(株)ワコールアートセンターでは、技術者・科学者・職人・アーティストたちの出会いから、新しい視点を活かしたモノづくりを提案する「ランデヴープロジェクト」を、りそな銀行では、企業や地域、アーティストとのコラボレーション企画「REENAL(リーナル)プロジェクト」を、それぞれ展開している。「企業はアーティストをどのように支援できるか」とは逆の、「アーティストはいかに企業をお助けできるか」という観点からの活動が生まれてきていること



が印象づけられた。そしてアーティスト側からは、企業や行政に対してプレゼンテーションできる仕組みについて提案がなされた。

PREVIEW [予告]

2008年サミット 財務大臣会議・大阪開催

とき: 平成20年6月13日(金)・14日(土)

場所: 大阪国際会議場(大阪市北区)

日本やアメリカ、EUなど主要8か国の財務大臣や国際機関の代表が一堂に会する国際会議が、大阪で開催されます。これは首脳会議に向けた重要な会議で、これまでに国際金融問題をはじめ、世界経済に大きな影響を与える地球環境問題など、幅広い分野について議論されてお



り、全世界に注目されています。地元大阪では、大阪府、大阪市、経済界により「2008年サミット財務大臣会議大阪推進協力委員会」を設置し、会議の支援・協力や大阪情報の発信などに取り組んでいます。会議の成功に向けて皆様のご理解・ご協力をお願いします。

ホームページ: <http://www.summit2008osaka.jp/>